

既存の枠にとらわれない 新しい保険商品を開発 アイアル少額短期保険



<http://www.air-ins.co.jp/>

上野直昭社長のプロフィール

生年月日／1958年2月27日
出身地／広島県
最終学歴／上智大学
趣味／陶芸
座右の銘／打つ手は無

少額かつ短期の保険を特徴とする少額短期保険業。比較的新しい業界で初めての合併により誕生したのが、アイアル少額短期保険だ。フットワークの軽さを生かした自由な発想による保険商品の開発で注目を集めている。

—— 2社の合併により現体制がスタートしました。

上野 少額短期保険業とは、無認可共済への規制にともなって誕生した新しい保険です。共済時代からの蓄積もあって比較的財務が安定していた学総と、オリジナル商品の開発を得意とするライズ少額保険が、お互いの強みをさらに生かすために今年2月に合併しました。

—— 新たな保険商品の開発については。

上野 金額や期間にこそ制限があるものの、従来までの損害保険や生命保険といった枠にとられない商品開発が少額短期保険の強みです。当社では、少数であるという身軽さを生かして「ノーと言わない保険会社」をモットーに、顧客が欲しいと思

う保険をオーダーメイドで実現することができず。現在、さまざまな保険を開発中ですが、まずは高齢化社会に対応して要介護認定者でも加入できる保険や、賃貸物件での自殺・孤独死が発生した場合にオーナー向けに家賃保証をする、といった独自の保険をリリースする予定です。

—— 保険流通の改革も目指しているそうですね。

上野 私は、これまでのキャリアの中で「結心会」という、全国の来店型保険ショップ500店舗以上を集めた組織で各店舗の運営を支援しています。こうした流通網を駆使して、それぞれの店舗をサービス業として位置付けながら保険の流通自体の改革を目指しています。また、われわれメーカー側も単独では限界があるので、それぞれに得意分野を持つ同業数社で緩やかに業務提携しながら、商品開発や流通面だけでなく、モバイル機器による決済などのシステム開

発も含めた幅広い面で協力していきたいと思っています。

—— 今後の事業展開は。

上野 さまざまな業界の方々と組んで、自由な発想による保険商品を開発していきたいと考えています。ニッチなマーケットが中心になるので、大きな利益を上げるのは難しい業界ですが、社会に貢献することが保険会社の原点であると思っています。少額短期保険業界自体、まだまだ一般への認知度が低いという決意も込めて合併時に頭を金髪に染めました。「アイアル」は、愛のある保険の提供を目指して名付けた社名です。当社のホームページのドメインである「air（空気）」のように、今後一般の方により身近に感じてもらうような保険を提供していきたいですね。

【会社データ】

設立／2011年2月
資本金／9950万円
従業員／11人
所在地／東京都中央区